

一般質問

9月議会では7名の議員が市政に対して、一般質問を行いました。
議会だよりでは、一般質問の要旨を各議員の文責において掲載しております。
土岐市ホームページでは、インターネットによる議会映像の配信や定例会・臨時会の会議録を掲載しています。ぜひアクセスして詳細をご覧ください。



一般質問へのアクセス方法

視聴の場合	土岐市ホームページ ⇒ 市議会 ⇒
どちらかの方法	議会ライブ中継 ⇒ 議会の日程から選ぶ ⇒ 一般質問
	⇒ 視聴したい日にち ⇒
	議会ライブ中継 ⇒ 議員の名前から選ぶ ⇒ 日時を選ぶ
文書の場合	土岐市ホームページ ⇒ 市議会 ⇒
	議会会議録検索 ⇒ 会議録検索システムへ

《第4回定例会一般質問》

●印は議員の意見・提案

- ◆アイフレイル対策について
●問 現状と今後の取り組みは。
●答 毎年10月10日の目の愛護デーに合わせて広報で年1回、目の検診の啓発。今後は、ホームページなどで周知。
- 問 アイフレイルのチェックリストをホームページ、広報での周知は。
●答 目の健康に関心を持てるよう、ホームページに掲載し、健康教育の場で活用していく。
- ◆投票率向上への取り組みについて
●問 自宅から投票所まで遠い方の距離は。
●答 1番の遠方は、鶴里公民館まで4.7キロ。次に泉西公民館まで4.2キロ。次に河合公民館まで4.1キロ。次に泉公民館まで4キロ。曾木公民館まで3.5キロ。
- 問 投票所への移動支援のお考えは。
●答 実施予定はないが、有権者の声や他市の動向に注視し考えていく。
- 問 投票所の人員配置について。
●答 公職選挙法及び施行令による規定がある。投票管理者1名、職務代理者1名、立会人2名以上5名以下。土岐市は2名の配置。受付1名、名



● 水石 玲子 ●



中学生サミット

- 簿対照1名、投票用紙交付1名、庶務1名、合計8名の設置。
- 問 移動期日前投票所設置の見解は。
●答 現在設置は考えていないが、今後、投票所の統合、削減を検討することになれば調査、研究をする。
- ◆主権者教育について
●問 新学習指導要領で、令和2年より小学校、令和3年より中学校で主権者教育が実施されているが、現状と今後の在り方はどうか。
●答 小6の社会科では、政治の仕組みや選挙権について、中3の公民で選挙の意義や仕組み、課題や政治参加を学び、CHANELの資料を活用し、選挙を身近に考える工夫をした。
- 問 夏休みに家族で議場見学は。
●答 中学生サミットが来年度で一回りする。議場見学については、関係部局と協議していく。



小栗 恒雄

◆旧統一教会関連団体の共催「ピースロード」への後援の経緯について
 〔問〕世界平和統一家庭連合（旧統一教会）の関連団体が共催する「ピースロード」を土岐市は後援していますが、どのような依頼があり、どのような経緯があり後援に至ったのか、審査の基準等についてお答えください。
 〔答〕ピースロード岐阜実行委員長名で申請されており、社会的に問題がある団体の関連団体と認識できる情報はなく、その時点で社会的に問題がある関連団体との認識はなかった。土岐市後援名義の使用許可に関する要綱で、特に政治活動及び宗教活動に係わりがない事、営利を目的としない事を要件とし審査しています。
 〔問〕市政が旧統一教会や関連団体と関係を持つことについて、市長のお考えをお聞かせください。
 〔答〕（市長） 今後は、旧統一教会や関連団体との関係を持つことはないと思います。やはり後援名義の許可を出す際の審査のほうもしっかりとやっています。必要があると思います。

◆共助まちづくり補助金について
 〔問〕土岐市は現在、共助まちづくり補助金を町内会に助成して見えます。共助まちづくり補助金は、コミュニティの推進事業、町内会加入促進事業、協力連携事業、それと合併事業を対象に補助金を助成しています。新しく良い制度を作っても昨年度の助成実績は一件だけでありました。町内会に限定することなく、できたら区とか連合区とかそういうところまで上げるように、ぜひ検討をお願いします。ご答弁をお願いします。
 〔答〕せっかくの制度でございますので広く利用していただきたいという考えもあります。今、議員がおっしゃったように、区のほう、区のレベルでもというような意見もございまして、参考にしながら、今後活用していただきやすいような形で作っていきたいと思いますので、よろしくお願いたします。
 ◆区長への活動謝礼金支給について
 〔問〕多治見市では年間12万円の区長活動謝礼金が支給されています。土岐市の導入についてお答えください。
 〔答〕地域社会の発展及び市政の円滑かつ効率的運営を図るために、区長には各町を代表していただき、行政事務全般に対してご協力をお願いしていますので、他市の状況を踏まえ必要性について検討してまいります。

【第4回定例会一般質問】

●印は議員の意見・提案



西尾 隆久

〔問〕市長就任後約3年半を振り返って、職員時代と比べ、責任の大きさを痛感しながらも、全力で市政に取り組んできたという自負はございます。就任して以来、多くの時間を新型コロナウイルス感染症対策に費やさなければならず、人々の行動様式や価値観の変化、デジタル技術の飛躍的な進展など、市政を取り巻く環境の変化はとて速く大きくなっており、その中であって、公約に掲げた、愛着の持てるまちづくり、地域を支えるひとづくり、地域住民の生きがいづくりの3本の柱に基づき、持続可能な土岐市に向けた仕組みづくりをおおむね順調に取り組むことができたのではないかと考えている。
 〔問〕次期市長選挙についての考えは。
 〔答〕コロナ禍はまだ終息しておらず、変革の時代であるからこそ愛着と誇りを持てるまちづくりをみんなで楽しくつくるため、多様な意見を多くの人と共有して生きていく必要がある、引き続き市政を担っていききたいと思っております。

〔問〕イオンモール開業のTOKI-MI NOYAKI についての内容は。
 〔答〕ウィズコロナ、アフターコロナにおける新たなビジネスの可能性を探り、販売拡大を目指すもので、主な事業内容は、ウィズコロナ、アフターコロナを見据えた新たな販売方法等の実証実験、若手クリエイターがチャレンジする場を提供する事業、土岐市ふるさと納税の推進を図る事業、美濃焼の価値の向上と認知度アップを図る事業、土岐市の美濃焼や観光のPR事業、道の駅もとてらす東美濃、土岐プレミアムアウトレットなどの連携により、市内への集客を図る事業の店舗であり、株式会社スチームシップに運営を委託した。
 〔問〕医療費の高校生までの無料化について、どれだけの財源が必要になるのか。
 〔答〕現時点において制度を高校生まで拡大したときの入院外来診療費の合計の負担額の増はおおむね4,100万円となり、慎重に考えていかなければと思います、引き続き検討課題とさせていただきます。
 〔問〕市長会を通して県への要望を出す考えは。
 〔答〕要望の声が各市とも出てくるようであれば、足並みをそろえ要望していきたいかなければと思っております。